

# 避難実施要領（案）

玄海町長

令和 年 月 Y 日 時 分現在

## 航空機自爆テロ（屋内退避 及び 町域内避難）

### 1 佐賀県からの避難の指示の内容

国の対策本部長は、国民保護法に基づき、航空機による自爆テロが差し迫っているとの警報を発令し、避難措置の指示を行った。要避難地域の住民は避難するとともに、安全が確認されるまでの間、そのまま屋内退避を継続すること。また、要避難地域以外の住民も堅牢な建物で屋内退避をすること。それぞれ、ドアや窓を全部閉め、換気扇を止める等、外気からできるだけ遮断されるようにして、防災行政無線、テレビ、ラジオ等からの情報収集に努める。

### 2 事態の状況、関係機関の措置

#### 2-1 事態の状況

発生時期	令和 年 月 Y 日 :
発生場所	—
実行の主体	個人所有の小型飛行機
事案の概要と被害状況	本日、福岡県のダムで小型航空機の墜落事故が発生、国から国内のライフライン施設に対する警戒指示が発出された。その後、佐賀県から福岡県で小型飛行機が離陸し、当町方面に向かっていているとの情報があり、玄海原子力発電所が攻撃目標である場合に備え、周辺住民を避難させる必要がある。
今後の予測・影響と措置	玄海原子力発電所に墜落した場合、周辺への爆風、破片により人体に影響があるため、可能な限り事前に避難を実施させる。また、武力攻撃原子力災害に至った場合に備える必要がある。
気象の状況	天候：___ 気温___℃ 風向___ 風速___m/s

#### 2-2 避難住民の誘導の概要

要避難地域	玄海原子力発電所から〇km以内の外津地区及び普恩寺地区 別紙参照
避難先と避難誘導の方針	上記地区の住民を自家用車両又は町、社協の公用車で玄海町社会体育館、町民会館に避難させる。
避難開始日時	令和 年 月 Y 日 :
避難完了予定日時	令和 年 月 Y 日 :

#### 2-3 関係機関の措置等

措置の概要	事態に備え、関係機関との連絡調整を図る。
連絡調整先	本避難実施要領は、町対策本部から各部等、県、消防機関、県警察、海上保安部、自衛隊及び国公私の団体等関係機関に伝達する。 現地調整所：町職員 2 名を派遣 ※国の現地対策本部が設置された場合には、連絡のため担当

	<p>職員等を派遣</p> <p>その他の関係機関</p> <p>唐津市消防本部(警防課):0955-72-9260</p> <p>唐津警察署(警備課):0955-72-2101</p> <p>唐津海上保安部(管理課):0955-74-4323</p> <p>陸上自衛隊第16普通科連隊(第3科):0957-52-2131</p> <p>※状況が変化した場合等、関係部署間において緊急に連絡を取る必要が生じたときは、別に示す連絡表の活用を図る。</p>
--	--

### 3 事態等の特性で留意すべき事項

<p>事態の特性 (除染の必要性等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 当町が攻撃を受ける場合、玄海原子力発電所が標的となると予期されるが、他の場所に墜落することも否定できないため、要避難地域以外の町内の全住民に対して、堅牢な建物での屋内退避を指示する。</li> <li>2 玄海原子力発電所に墜落した場合は、武力攻撃原子力災害に備える必要がある。</li> <li>3 自力での歩行が困難な者や日本語の理解が不十分な外国人については、付近にある者が避難に関して援助を行うとともに、必要に応じ、避難行動要支援者の例によって避難させる。</li> <li>4 担当職員等は、屋外にいる者が堅牢な建物に速やかに避難が行えるよう配慮する。</li> <li>5 住民以外の滞在者についても、屋内への避難誘導について、観光施設・大規模集客施設・店舗等に対して協力を依頼する。</li> </ol>
<p>地域の特性</p>	<p>地域の結びつきが強く行政区単位の行動が期待できる。また、避難行動要支援者は、個別避難計画を活用して、避難を実施する。</p>
<p>時期による特性</p>	<p>低気圧の影響により降雨の可能性がある。</p>

### 4 避難者数(単位:人)(※当時の状況に応じて GIS で人数を算出してください。避難者数は R4.12.31 現在の住基情報、要避難者数は R4.3.31 現在の避難行動要支援者名簿)

地区名	外津	普恩寺	合計
避難者数(計)	593	246	839
うち要避難者数	81	37	118
うち外国人等の数	0	0	0

### 5 避難施設

#### 5-1 避難施設

避難先地域	玄海町	玄海町		
避難施設名	社会体育館	町民会館		
所在地	新田 1809-22	新田 1809-22		
収容可能人数(人)	1,174	210		
連絡先(電話等)	0955-52-6310	0955-52-6310		
連絡担当者	教育課〇〇	教育課〇〇		
その他の留意事項等				

#### 5-2 一時集合場所(※全地区の一時集合場所を掲載しています。当時の状況に応じて地区

を選択してください。)				
一時集合場所名	外津漁村環境改善総合センター	九州電力値賀寮体育館		
所在地	今村 4735	今村 6316		
連絡先(電話等)	0955-52-6942	-		
連絡担当者	〇〇	〇〇		
その他の留意事項等				
6 避難手段				
輸送手段	鉄道・バス・船舶・徒歩・その他(要支援者用の車)			
輸送手段の詳細	種類(車種等)	乗合大型バス	観光大型バス	
	台数	〇台	〇台	
	輸送可能人数	50名	50名	
	連絡先	〇〇バス	〇〇バス	
輸送力の配分の考え方				
その他輸送手段	要支援者	自力歩行が困難な要支援者等に対しては、個別避難計画の支援者が避難施設まで搬送を行う。支援者による支援が困難な場合は、消防団や町の保有車両により搬送する。		
	その他(けが人等)	町内の病院及び唐津市の病院と調整し、救急車やドクターヘリによる搬送を行う。		
7 避難経路				
避難に使用する経路	主な避難経路は、国道 204 号 細部は、別添地図を参照			
交通規制	実施者の確認	唐津警察署		
	規制にあたる人数	〇人程度		
	規制場所	住民を速やかに避難させる必要があるため、警察では主要な避難経路のうち、別紙に示す区間で交通規制を行う。		
警備体制	実施者の確認	唐津警察署		
	規制にあたる人数	〇人程度		
	規制場所	交通規制を行う付近で警備を行う。		
8 避難誘導方法				
8-1 避難(輸送)方法				
地区		外津	普恩寺	
一時集合場所への避難方法	誘導の実施単位	行政区	行政区	
	輸送手段	徒歩	徒歩	
	避難先	外津漁村環境改善総合センター	九州電力値賀寮体育館	
	集合時間	Y日〇:〇	Y日〇:〇	
	その他(誘導責任者等)	区長	区長	
町内避難施設への	誘導の実施単位	行政区	行政区	
	輸送手段	バス	バス	

避難方法	避難経路	国道 203 号	国道 203 号		
	避難先	社会体育館	社会体育館		
	避難完了予定日時	Y 日〇:〇	Y 日〇:〇		
	その他(誘導責任者等)	〇課〇〇	〇課〇〇		
要支援者等の避難方法	誘導の実施単位	個別避難計画により個別対応			
	要支援者への支援事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者支援班を編成</li> <li>・要支援者の状況に応じた対応を実施</li> </ul>			
	輸送手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援者車両</li> <li>・バス</li> <li>・福祉車両(車イス仕様)</li> <li>・福祉車両(ストレッチャー仕様)</li> <li>・救急車</li> </ul>			
	避難経路	国道 203 号			
	避難先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内指定福祉避難所</li> <li>町民会館</li> </ul>			
	避難開始日時	Y 日〇:〇			
	避難完了予定日時	Y 日〇:〇			
<b>8-2 職員の配置方法</b>					
配置場所	避難先施設	一時集合場所	主要な交差点		
人数	5 名	3 名	1 名		
現地調整所	連絡要員 2 名				
<b>8-3 残留者の確認方法</b>					
確認者	職員、消防団員 10 名、車両				
時期	Y+1 日〇:〇				
場所	外津、普恩寺				
方法	広報車での呼びかけ、戸別訪問				
措置	残留者に対し、避難するよう求める。				
終了予定日時	Y+1 日〇:〇				
<b>8-4 避難誘導時の食糧の支援・提供方法</b>					
食事時期	Y 日夕食から支給				
食事場所	避難先施設				
提供する食事の種類	当初は、町備蓄食料 事後は、現地調達による弁当又はボランティアによる炊き出し 状況により佐賀県又は自衛隊に支援を要請				
実施担当部署	住民対策部				
<b>8-5 追加情報の伝達方法</b>					
避難誘導に配置した職員による連絡、登録メール、ホームページ、防災 SNS 等					
<b>9 避難時の留意事項(主に住民)</b>					
自宅から避難する場合の留意事項					
基本事項					
避難者は、食料、貴重品、医薬品、運転免許証等の身分を証明するもの、最小限の着替えや日用品、非常持出品等を携行する。					
出火防止対策を行い、施錠等行う。					

	隣近所に声掛けをして相互に助け合って避難する。
	親戚宅等に避難する場合は、区長に避難先を連絡する。
事態の特性	・車両内にある者は、可能な限り、車両を道路外の場所に駐車し、やむを得ず道路上に駐車する場合は、道路の左端に沿ってキーをつけたまま駐車するなど、緊急車両の通行の妨げとならない方法とする。
時期の特性	降雨も予想されることから、着替えや雨衣の準備が必要である。
一時集合場所・避難所での対応	・到着時は、自主防災組織のリーダーのもとに集合する。
<b>10 誘導に際しての留意事項(職員)</b>	
(心得・安全確保・服装等) ・避難誘導員は、冷静沈着に毅然たる態度を保つこと。 ・特殊標章等を携帯すること。 ・防災服や腕章等により、避難誘導員であることの立場や役割を明確にし、その活動に理解と協力を求めること。 ・避難誘導員は、正確な情報提供を行い、無用な混乱の防止を図るとともに、冷静かつ秩序正しい行動を呼びかけること。	
<b>11 情報伝達</b>	
避難実施要領の住民への伝達方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内連絡網</li> <li>・個別避難計画に基づく伝達方法</li> <li>・防災行政無線、登録メール、防災 SNS、ホームページ</li> <li>・報道機関：報道責任者は、避難実施要領について情報提供</li> </ul>
避難実施要領の伝達先	伝達先一覧による
職員間の連絡手段	LoGo チャット(国民保護トークルーム) 職員電話番号一覧による
<b>12 緊急時の連絡先</b>	
玄海町 国民保護対策本部 (緊急対処事態対策本部)	電話:0955-52-2115 F A X:0955-52-5008 e-Mail:bousai@town.genkai.lg.jp